

【代表者】

代表取締役社長 柳田 芳典 氏

【住所】群馬県

太田市矢場町2707

【創業】明治40(1907)年

【設立】昭和22(1947)年

【資本金】2100万円

【従業員数】55名

男性50名(正規:44名)、女性5名(正規:4名)

うち、外国人2名(男性正規2名)

【事業内容】自動車用車体治具装置、各種省力化装置設計製作、ヘミング型の製作と開発、一般産業機械設計製作

【HP】<http://www.yanagita-iw.com/index.html>

■インタビュー対応者■

代表取締役社長 柳田 芳典 氏

1. 企業概要について

燃料電池車、自動運転車など次世代の自動車開発を巡って、国内外の自動車メーカーがしのぎを削っています。一方、世界的な、自動車販売競争の激化に伴い、各自動車メーカーは、廉価で高精度、高生産性を兼ね備えた生産設備の短納期での製造を強く求めています。アセアン諸国、ロシア、ブラジル等の新興国へ進出した現地工場からも、廉価な生産設備が求められており、今後さらにニーズが高まると見込まれます。

当社は、群馬県太田市にて自動車用車体治具装置、各種省力化装置設計製作、ヘミング(折り曲げ)型の製作と開発等の事業を行っています。迅速で安定した製品の提供を行い、国際的なエンジニアリング企業として大きく発展していくことを目指しています。主として、自動車産業向けロボットヘミングライン、自動溶接組立てラインにおいて、企画、機械設計、制御設計、機械加工、組立、ロボット・ティーチングまでの一貫したシステム構築に高度なノウハウを有しています。溶接・組立てラインでは、スポット溶接やアーク溶接を中心に完全自動化を推進し、その他、セッティング、パレタイジング、ハンドリングなど、従来人手に頼らざるを得なかった分野へもロボットを活用し、工程間の搬送装置と連携させて、自動生産システムを完成させています。設計に際してはCAD(Computer Aided Design)を積極的に導入し、標準化を進めています。特に3D・CADや3D生産シミュレーションCADといった最先端システムの活用により生産性や品質の向上を図っています。

当社のモノづくりの特徴は、永年の型技術、素材技術の蓄積である「匠の技」マイスター認定者2名と最新のコンピュータ支援によるデジタル技術を融合させ、独特のノウハウで各種金型や生産設備を設計製作からトライアルに至るまでスピーディーに一貫生産できるところと自負しています。また、本物のモノづくりを理解し、モノづくりの喜びや誇りを受け継いでいける人材を育成することに力を注ぎ、「匠の技」を次の世代にしっかりと継承していきたいと考えています。これからも更にお客様に喜んで戴けるよう、モノづくりにおいて、常に新たな価値を創造できる企業を目指してまいります。

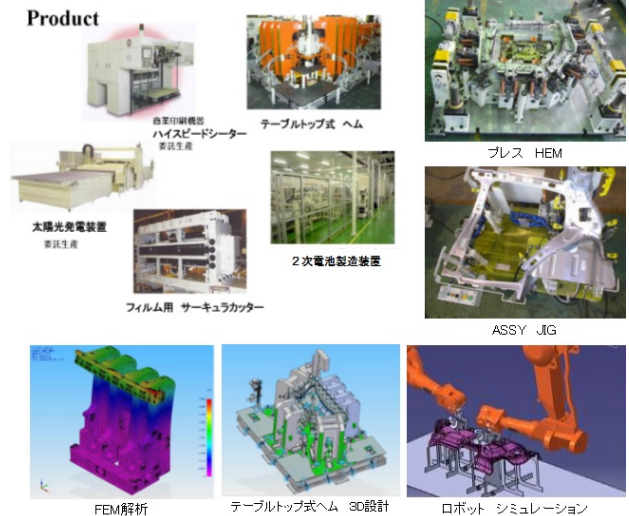


柳田社長

2. 海外人材採用のきっかけ・時期・受入準備等について

ジェトロ(独立行政法人日本貿易振興機構)と群馬県の共催で県内中小企業がベトナムに進出するための現地情勢の解説などの勉強会が実施されました。その事業の一環として在日のベトナム人留学生とのマッチング会も実施されました。以前、当社では韓国籍の人材を採用したことがありましたが、通貨高の問題等で継続雇用できなかった経験があり、今回は、東南アジア方面の技術人材を確保しようという思いでマッチング会に参加しました。そこで、群馬大学卒の留学生のレさん、ホワンさんと出会いました。ベトナムに進出しようという意図ではなく、勤勉で優秀と評判の人材を確保したいという思いでした。我が国は島国特有の“日本人だけで”など同質的な価値観に偏りがちなことに、従来から疑問を持っていました。日本人は微細加工などに強みがありますが、俯瞰的な部分では、大陸に住むベトナム人の彼らのほうが強いと思います。日本人だけでなく多様な社員が活躍できる企業でありたいと考えています。

彼らは日本語教育も受けており、日本語はほぼ問題なく使いこなしているため受入れ体制の準備などは特にありませんでした。入国管理事務所には同行し、就学から就労ビザへの切り替えなどに対応しました。レさんは2013年4月、ホワンさんは9月に入社しました。住居は私が一緒に探し、貸主に対しての保証人となっています。2名同時に採用した理由は、社内で1名だけでは寂しくなると考えたからです。



3. 海外人材の活躍状況等について

現在、レさんとホワンさんは、共に設計部門で活躍しています。パソコン上での作業だけではなく、実際に製造現場において、ロボットにプログラムのティーチング作業を行う際に、先輩社員と一緒に立ち会わせて教育をしています。両名ともハノイ工科大学と群馬大学の交換留学で来日しており、ハノイ工科大学入学当初から日本の技術を学びたいという目標を持っていますので知識や技術、やる気は申し分ありません。社内では、設計部門内での教育ローテーションがあり、それに従い先輩社員指導の下、2D設計から3D設計、ロボットシミュレーションと順番にOJTでの研修を受けていきます。今後、担当させようと考えているロール・プレスヘム加工の設計マスターには数年かかるので、先輩の設計を応援する形で徐々に勉強し、覚えてほしいと考えています。

4. 海外人材採用ルート及び選考方法について

今後も国籍問わず、採用したいと考えています。群馬県主催のマッチング会への参加やハローワーク、群馬大学等への求人広告等で人材を確保予定です。基本的には、面接で選考します。

5. 社内全体の人材戦略について

(1) 社内人材の能力を活かす具体的な取組み

社員に対しては夏と冬に配置希望等を聞いています。給与については一時金支給のタイミングに各課長が実施する査定をもとに役員が決定します。2013年12月からは業務改革も実施し、生産性向上とやる気を喚起するため能力給も導入しています。研修についてはOJTが基本ですが、群馬県立産業技術センター等が主催するセミナーや研修にも必要に応じて社員を参加させています。

(2) 労働制度面等からの支援（休暇制度等の整備状況）

正社員の4名の女性は、総務・経理で2名、製造で2名が活躍しています。子育て支援等に関しては、特に目立った実績は今のところありません。高齢者雇用については60歳定年ですが、再雇用希望者は65歳まで継続雇用しています。

6. 今後の事業展望と人材戦略（人材確保・育成）について

(1) 今後の事業展望（方向性）

現在の中核事業は、自動車用生産設備、ロボットを組み込んだ自動化設備です。特に、自動車ボディのヘミング加工設備が中核です。ヘミング加工は①油圧プレス式、②テーブルトップ式（油圧シリンダー内蔵）、③ロボット式の3方式があります。今後の方向性としては、培ったロボット式ヘムの技術（3D設計、ロボットシミュレーション、FEM構造解析）を活用して、ロボットを組み込んだ、高度な省人化設備、完全自動化ラインの提案をしていきたいと考えています。

(2) 人材確保・育成にかかる方向性と課題

韓国などは、国を挙げてのものづくり人材の育成支援を行っています。地域の大学に高価な機器を導入し、地域企業の人材を実践的に共同育成する手厚い支援をしています。技術者を1企業で1人前になるまで育成するには多くの時間とコストを要するため、我が国でも手厚い人材育成支援が存在したら良いと考えています。世間の要求が、より高性能を求めるようになっていきますので、技術力を高度化し、他社にはない最新の製品や技術を手がけるため、今後も優秀な人材を確保し、育成していきたいと考えています。



■海外人材の皆様へインタビュー①■

【お名前】レ・ハイ・ダン さん

【出身地】ベトナム ハイフォン市

【日本での出身学校名等】

国立大学法人群馬大学 工学部 機械システム工学科

○日本に留学したきっかけ：

日本は先進国なので、より発展した勉強ができるのではないかと考えたため、日本の大学との交換留学プログラムがあるハノイ工科大学を受験しました。無事合格し、交換留学プログラムで2010年来日。大学3、4年生の2年間、群馬大学で学びました。

○就職活動方法：

日本人学生と同様に大手就職支援サイト等も活用し、就職活動も行いましたが、最終的には大学の先生からの勧めもあり当社に応募し、面接試験後、内定を頂きました。元々、自動車に興味があり、当社ならば自分の技術や知識が活かせるのではないかと考えました。家族も日本での就職について応援してくれました。

○実際に働いての感想：

色々な知識を勉強でき、実際の解析業務も任せていただき、とても嬉しく思います。

○夢や今後の意気込みなど：

仕事を頑張って覚え、将来は日本とベトナムを繋ぐ架け橋になればと考えています。

■海外人材の皆様へインタビュー②■

【お名前】ホワン・カック・チ さん

【出身地】ベトナム ハノイ市

【日本での出身学校名等】

国立大学法人群馬大学大学院 機械システム工学科

○日本に留学したきっかけ：

ハノイ工科大学を卒業し、群馬大学大学院へ留学しました。日本のマンガが好きだったこともきっかけの一つです。

○就職活動方法：

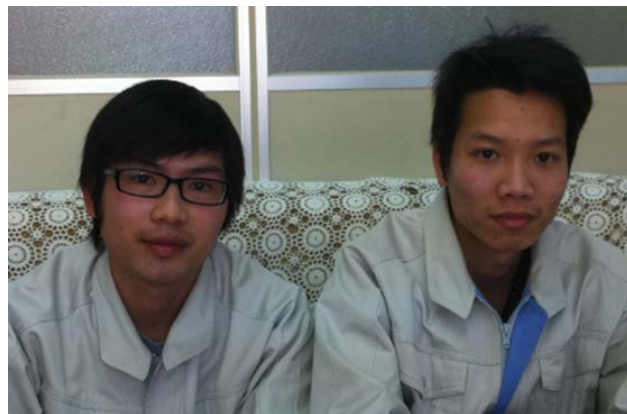
日本人学生と同様の就職活動をしました。設計の仕事をしたかったので当社を希望しました。

○実際に働いての感想：

社員の皆さんはとても親切で、従事している仕事もとても面白いです。働く中で色々な勉強でき、嬉しく思っています。

○夢や今後の意気込み：

将来的には帰国して、母国で設計事務所を設立したいです。



ホアンさん

レさん

■経済産業省施策活用実績■

○平成24年度補正「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発用等支援補助金」